



No. 99-②

<例>14-① Ken plays soccer. [下線部を baseball に替えて「野球はやらない」に] Ken doesn't play baseball.

[解説] 「野球はやらない」という日本語の意味から、この文を否定文にすればいいということがわかる。一般動詞の三人称単数現在の文の否定文を作るときは助動詞 doesn't を動詞の前に置く。そして、もはや動詞の語末にある s はいらない。soccer を baseball に替えることを忘れないようにする。

14-② Mr. Hosoda teaches Japanese. [下線部が不明で答えの中心となる疑問文に]

What does Mr. Hosoda teach?

[解説] Japanese が分らないので Mr. Hosoda が何を教えるのかを問う。日本語の動詞は teach である。What が文頭に付く。teaches の es が消えて does が What の後に付く。What does Mr. Hosoda teach? とする。Mr. Hosoda が三人称単数現在で teach を teaches に変換する。teaches の es が消えて What の後に付く。What does Mr. Hosoda teach? とする。

14-③ I play tennis at school. [下線部が不明で答えの中心となる疑問文に]

Where do you play tennis?

[解説] 文の中心が不明で答えの中心となる疑問文に付く。at school が消えて Where do you play tennis? とする。at school が消えて Where do you play tennis? とする。

14-④ This is Ken's pen. [下線部が不明で答えの中心となる疑問文に]

Whose pen is this?

[解説] This is Ken's pen の Ken's が分らないので Whose pen is this? とする。Whose が文頭に付く。Whose pen is this? とする。

14-⑤ The yellow bag is mine. [下線部が不明で答えの中心となる疑問文に]

Which bag is yours?

[解説] The yellow の部分が分らないので Which bag is yours? とする。Which が文頭に付く。Which bag is yours? とする。

これは意味が This is be 消えて is の順番が逆になり

\*選択肢が複数ある中で尋ねる文に

を入れて問う事考えていたのがおかし。そして Which bag is yours とする。

17-① マクレイ先生 (Mr. MacRae) は英語とフランス語 (French) を話します。

Mr. MacRae speaks English and French.

[解説] 日本語の「～します」という表現から、現在の習慣を表す文を書くと考えられる。「話す」という動詞は speak, tell, talk などがあるが、「言語を話す」という場合は speak を用いる。ただし、主語が Mr. MacRae 一人なので、三人称単数現在の文と考えて動詞は speaks とする。そして対象の言語を「A と B」という場合は "A and B" と表す。

17-② あなたのお父さんはカレー (curry) を上手に料理することができますか。

Can your father cook curry?

[解説] 日本語の「～できますか」という疑問文から、Can が文頭に付く。Can your father cook curry? とする。

17-③ 太郎 (Taro) は毎朝、川の近くで彼の犬を散歩させます。

Taro walks his dog near the river every morning.

[解説] Taro が主語で his dog が目的語で walks が動詞で near the river が場所、every morning が時間。Taro walks his dog near the river every morning. とする。

Taro walks his dog near the river every morning. とする。

Taro walks his dog near the river every morning. とする。

日本語の文の間に to が付く。Can your father cook curry well? とする。

<コメントを書く>

①普通の授業...普通の授業で僕は集中して積極的に参加出来ていたと思う英語レッスンの内容が全て大事でありそれがつかないで結果とがたため一つの事が少しくてもかかっているその少しがやがて大きな問題となりその部分から一気に崩壊していき持たないので僕は少くともソレはつかないかと思いをからけていました。積極性や声の大きさはまあまあだと思いましたが前回はソレが押されていたと思いましたがALTの先生が入ってきて授業がより英語らしくなるとたためやいスピードでたさんの難しい内容が入ってきました自分もそのスピードに慣れてソレで積極的に授業に参加しましたがやはりソレでプレッシャーや緊張感ソレものがあり声が出なくなってしまう事がありましたしかしペア練習はよく出来ていたと思いましたがやはり英語は自ら話したりはたしてソレでソレと申ひていくソレ僕は考えていますなのでペアの人と一緒に沢山話したりすること自然に英語になれていきコミュニケーション能力が少し上がったと思えますそのおかげで英語のスピーチの時ALTの人から質問された時ソレが重要な部分が何となくかかっているのか少しソレを抜き出して考える事が出来ました普通の授業はソレソレに深く大切な内容がたまっているため間違えも無いのでこれからソレソレ積極的に参加したいと思えます

② 普段の家庭学習... 家庭学習は家でよくやっていた。前のテストでは単語があまり出来ていなかった。なので単語中心に行った。もちろん毎日基礎楚英語もやった。そのため、基礎楚英語のピロピロ問題をよく解く事が出来た。しかし、一番最初の問題から間違えてしまったので、悲しかった。単語問題も、ここまでする間間違えた。しかし、これも基礎楚英語と同様、一番始めの問題を間違えてしまった。練習では当たり前のように出来ていた事が本番になると急に出来なくなるので、テストの時の雰囲気を感じながら行いたいと思う。さらに、今回のテストでは文の作成が上手いけど、間違えたものも多かったため、これから家庭学習では、自分で日本語の文を作成し、それを自分で教に対する問題を行いたいと思う。家庭学習は日々少しずつやるのか?、でも大抵、1日に超(多)量をやっても覚える事が出来なかった。少しずつ、少しずつ積み重ねていきかんげていきたいと思う。

③ 今回のテスト勉強... 今回のテスト勉強は3~4週間前から始めた。今回は主に必修テキストを中心に勉強をした。必修テキストで間違えた問題や出来なかった問題を中心に勉強した。そのため、必修テキストで間違えた問題に似た問題はよく解く事が出来た。他教科とのバランスは英語の方が多々やっていたと思う。そのため、他の教科が少し勉強不足になってしまった。土日は主に4時間(引)教科書で勉強したため、とても早く勉強出来たと思う。今回のテスト勉強は前回よりも交力率よく行ったと思うが、行った内容の1つが前回よりも少なかった。そのため、これから1つ1つ時間をかけて、交力率的に早く行いたいと思う。

④ 全体を振り返っての感想、今後の課題や目標など  
今回のテストはあまり良い点数をとる事が出来なかった。前回よりも少し交力率よく時間を考えて勉強を行ったと思うが、1つ1つの内容が達が達してまたそのため、少し難しくなったり、3つ考えて3つ事が多くなっていた。英語は全体をしっかりと理解していかないと解く事が出来ず、英文全体の構成が分かっていかないと書ける事が出来ず、そのため、1つ1つの事をしっかりと理解していかないと行かない。なので、普段の授業や、日々の家庭学習、テスト勉強のやり方などかたても重要になってくると思う。この事を集中して積極的にとりはなす事が大切なのだ。しかし、ただ授業に集中するのはよく内容理解がなければならない。ただ、集中しても自分自身で理解していかないと出来ず、出来ず。そのため、間違えても良いのでとにかく「自ら発言したり、発表したり」がポイントとなると思う。そこで間違えた、出来なかった所をなぜ、出来なかったのか?、どこが違っているのかを理解が100%完璧になる事が出来るのだと思う。とても大変で難しいと思いますが、努力すれば、必ずその努力は報われると思っておかんげりたいと思います。

